

奈良教育大学特別支援教育研究センター NEWS LETTER

TEL&FAX 0742-27-9314
http://cp-support2.nara-edu.ac.jp/hp/
E-mail : tokubetsu@nara-edu.ac.jp

ごあいさつ

特別支援教育研究センター 特任准教授 大谷 多加志

本年度より特別支援教育研究センターに着任しました。専門は発達心理学および発達アセスメントで、発達検査に関する研究や、子どもの認知発達に関する研究を行ってきました。最近では、0歳の赤ちゃんの発達についての調査も行っています。また、以前は児童発達支援事業所で心理士として勤務し、乳幼児期から学童期の子どもの発達支援に携わってきました。

「発達検査」において、子どもの育ちを数値化して表現することに、抵抗を覚える方もおられるかもしれません。実際のところ、数値的な検査結果だけでは、子どもの発達像を十分に表しきれない場合も少なくありません。様々な検査課題に対する子どもの反応を観察し、そこから子どもの認識や思考、判断の過程を「子ども目線」で想像していくことが、本当の意味での発達理解につながっていくものと考えています。発達検査等を通して垣間見える子どもの世界は、いつも本当に面白く、魅力的で、刺激に満ちています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、入構制限が行われているため、現在はセンターの相談事業もストップしていますが、状況が落ち着き、たくさん子どもたちと関わる機会を持てる日を心待ちにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

教職大学院 准教授 堀田 千絵

こんにちは。2020年4月から教職大学院に着任することになりました、堀田千絵(ほったちえ)と申します。専任教員として今年で12年目を迎えました。最初は、保育者の養成、その後小学校や幼稚園教諭の養成、そして養護教諭や特別支援学校教諭の養成に携わる機会をいただきました。この12年間の過程で学んだことは、「子どもに何度も出会い、現場での感覚をつかむこと」でした。理屈では説明できない感覚です。同時に改めて学術的な知見の大切さも実感しています。園に通う子どもや保護者の悩み、先生方の思い、自分らしく生活しながら精神科に通院する大人の方々との出会いと交流、そして奈良県の先生方との出会いが今の私を支えています。

私の専門は、認知発達心理学のアプローチを軸にしながらも、個々の支援に合わせた保育や教育での実践方法について考えることにあります。地域子ども達や保護者の方々、現場で支援をされているの方々、そして学生や院生、センターのスタッフと共に大切な時間を送ることができることに感謝しています。これからも出会いを大切にしながら進んで行けたらと思います。

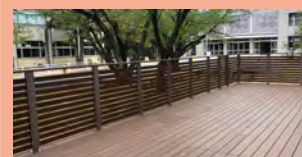
特別支援教育研究センター スタッフ

センター長：根来秀樹（児童精神科医）
副センター長：越野和之（教育学部兼務）
特任准教授：大谷多加志（臨床心理士・公認心理師）
講師：富井奈菜実（公認心理師）
相談員：小松 愛（臨床心理士・公認心理師）
教育学部兼務教員：中西 陽（臨床心理士・公認心理師）
教職大学院兼務教員：木下理恵
堀田千絵（公認心理師）
事務：大久保直子



リニューアル!

改築工事がおわり、建物が綺麗になりました。



ウッドデッキができました!

令和元年度の取り組み

教育相談・発達相談（令和元年8月～令和2年3月は改築工事のため大幅に業務を縮小）

相談総数	234 件	内訳		
		発達相談	230件	／教育相談 4件

保護者・子ども向けプログラム

寺子屋	のべ人数	26	名	
夏休み!!宿題おたすけプロジェクト (3日間)	小学生	のべ 33	名	保護者 のべ 27 名
	学生	のべ 46	名	教員 のべ 17 名
鉄オタ倶楽部	子ども	のべ 83	名	サポーター のべ47 名

教師向けプログラム

TT アドバンス・クラス 「基礎から学ぶ応用行動分析講座」(10回実施)	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員	のべ 70 名
---	-----------------------	---------

講座・研修

- 5/18 「障害を持つ息子よ～息子よ。そのまま、いい。～」 講師：神戸金史氏
- 7/23 「思春期心性と発達障害」 講師：根来秀樹
- 12/11 「寄り添うやさしさと、立ち向かう強さと～少年院の子どもたちとともに歩んで～」
講師：中野レイ子氏
- 2/15 「心理検査の効果的な活用—学級担任のアイデアから学ぶ—」

センターからのお知らせ

facebookを開設しています。
イベントのお知らせ、活動記録などをアップしています📷

特別支援教育研究センター

facebook



奈良教育大学鉄オタ倶楽部

facebook



令和元年度 活動報告

鉄オタ倶楽部



発達障害のある子どもたちが鉄道をとことん追求しながら集団の中で社会的スキルを学ぶことを目的としたプログラムです。8月の「鉄オタ選手権」では“大回り乗車”プランのプレゼンを実施し、9月には見事優勝したプランで小旅行に出かけました。（立ち食いそばも食べました！）3月には恒例の成果発表会を実施。1年前の発表会で手応えを得た鉄オタキッズたちは「あれもやりたい！これもやりたい！」と希望し、少々欲張りなプログラムに。かけもちするメンバーも多く準備が大変でしたが、今年も大成功でした！



夏休み!!宿題おたすけプロジェクト



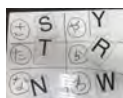
発達障害のある子どもたちを対象とした学習支援プログラムを実施。3日間かけて山盛りの宿題を終わらせることができました！教員を目指す学生や意



欲ある現職教員「おたすけ隊」のパワー（専門性）もレベルアップ。充実した学習コーナーも準備されました。保護者はペアレント・トレーニングを受講しました。「子どもの学習支援」、「ペアレント・トレーニング」、「学生や現職教員が発達障害のある子どもたちへの支援方法を学ぶ研修」を兼ねた事業となりました。（写真は「ロボラボ」と「染物工房」）

放課後学習支援「寺子屋」

学習困難のある子どもを対象とした学習支援を行なっています。読み書きの評価に基づき、タブレット等を活用しながら、一人一人の子どもの特性に応じた支援を行なっています。月2回教員を目指す学生が指導しています。今年はタイピングの練習も頑張りました！夏休みはかき氷パーティーもしました。（パーティー後はいつものチャンバラ→）



発達障害教育セミナー

「心理検査の効果的な活用—学級担任のアイデアから学ぶ—」

令和2年2月15日（土）に現職教員を対象とした教育セミナーを開催。発達障害のある子どもの心理発達アセスメントの結果を金庫に眠らせるのではなく、教育場面でどのように活用するかをテーマに、小学校の現職教員4名に具体的なアイデアを報告していただきました。参加者からは子どもたちがせっかく受けた検査を無駄にしないように活用したい、本セミナーの内容を参考にしながらさらにアイデアを広げ実践したい、検査結果の活用についてさらに学びを深めたいなど意欲的なご意見をいただきました。

【お問い合わせ先】

奈良教育大学特別支援教育研究センター

住所：〒630-8528 奈良市高畑町（奈良教育大学高畑キャンパス新館1号棟 1階）

TEL & FAX：0742-27-9314 *火・水・木（祝日を除く）午前10時～午後1時／午後2時～午後4時

メールアドレス（事務）：tokubetsu@nara-edu.ac.jp